NIE実践報告

1．タイトル：☆総合的な学習の時間における新聞記事の活用

2．学校名

愛媛県松山市立南中学校

3．実践者名（代表者名）

大澤 政志

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・社会科　645人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事を読もう　~　記事の見出しを考えよう　~

7．目標(狙い)

新聞記事を読み、記事の見出しをつけるトレーニングをすることで、新聞（テキスト）を読む力と記事を端的に自分のことばでまとめる（自分の考えを書く力）技能を高める。

8．評価の視点

新聞記事を読み、見出しとしてふさわしい言葉を考えているか。また、小集団において自分の意見を主張し、活発に話し合えているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

さまざまなテキストを用いたPISA型読解力の伸長　〔総合的な学習の時間：35時間〕
（各教科ごとに輪番制で全校一斉授業を行う）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞の紙面の構成について知る。（見出し・リードなど）
②見出しを隠した新聞記事のプリントを配布し、記事の内容からそれにふさわしい見出しの言葉を考える。
（１）個人で見出しを考える。
（２）小集団で話し合い、班で一番いいものを選出する。
（３）班の代表意見を発表し合い、共通点や相違点を知る。
③学習の評価と授業の感想を書く。

（留意点）
・個人の意見が明確でないとその後の小集団での話し合いが深まらないので、しっかり考えさせる。
・全校一斉に放送で進める。
・学級や個人の実態に合わせて、時間配分や展開はは授業監督者の裁量に任せる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

クイズ形式で始めたため、「正解だー！」という歓声が教室から聞こえてくるなど、大変盛り上がりのある授業であった。わからない語句を辞書で調べることにも意欲的に取り組んでいた。

12．成果と課題

単に記事を読んで感想を書くのとはちがい、ある程度の量の情報を短く自分の言葉にまとめるというわかりやすい活動であったことと、自分の意見を他者の意見と比較することで他者との共通点や相違点を知るおもしろさがあったことで、活発な授業になった。
課題は、意味や読み方のわからない語句を辞書で調べさせることに時間を取られすぎたことである。語彙力の差がワークシートを解いていくスピードの差として表れてくる。放送で一斉に進めるのがよかったかどうかは疑問が残った。